

社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
① 計画の名称	四国中央市地域
② 都道府県名	愛媛県
③ 計画作成主体	四国中央市
④ 計画期間	平成23年度 ～ 26年度
⑤ 計画の目標	『安全で快適な住まいを長期にわたり確保するため、修繕、改善などの住宅の活用手法を定め、長期的な維持管理を実現する。』 『全体的な修繕や改善計画を定め、長寿命化による更新コストの縮減を図る。』
2. 事後評価の内容	
⑥ 実施体制・時期	四国中央市において評価を行う。（平成27年7月）
⑦ 事後評価の結果	<p>指標1：「公営住宅の耐震改修等事業」 定義：耐震性の確認をした結果、耐震改修の対応が必要とされた住棟で耐震改修工事を実施した住棟の割合 評価方法：耐震改修工事を実施した住棟数で評価。 結果：従前値：8.0%（22年度）⇒目標値：100%（26年度）⇒実績値：100% 結果の分析：新耐震基準以前に建設した公営住宅等については、補強が必要なものについて全戸実施し、公営住宅の安全性向上を図った結果、目標を達成することができた。</p> <p>指標2：「長寿命化計画策定業務」 定義：維持管理する公営団地（改良住宅含む）の長寿命化計画の策定割合 評価方法：長寿命化計画の策定状況で評価 結果：従前値：0%（22年度）⇒目標値：100%（26年度）⇒実績値：100% 結果の分析：長寿命化計画を策定したことにより、目標を達成した。なお、策定後は、ライフサイクルコスト縮減に配慮しつつ、点検・予防保全的な修繕、耐久性の向上等を図る改善事業等を計画的に運営するよう図った。</p> <p>指標3：「市営住宅の手すり改修事業」 定義：市営住宅における手すり改修を行った住宅棟数の割合 評価方法：手すり改修工事を実施した住宅棟数で評価。 結果：従前値：0.2%（22年度）⇒目標値：44.1%（26年度）⇒実績値：55.6% 結果の分析：躯体の老朽化等による事故を未然に防ぐ為に手すり改修工事を実施した結果、目標値を超えることができた。なお、継続的に実施し安全性の向上を図っていききたい。</p> <p>指標4：「市営住宅の防水改修事業」 定義：市営住宅における防水改修を行った住宅棟数の割合 評価方法：防水改修工事を実施した住宅棟数で評価。 結果：従前値：2.2%（22年度）⇒目標値：41%（26年度）⇒実績値：57.5% 結果の分析：躯体の老朽化を未然的に防ぐ為に防水改修工事を実施した結果、目標値を超えることができた。なお、継続的に実施するとともに、仕様のグレードアップにより居住性の向上を図っていききたい。</p> <p>指標5：「市営住宅の外壁改修事業」 定義：市営住宅における外壁改修を行った住宅棟数の割合 評価方法：爆裂改修工事を実施した住宅棟数で評価。 結果：従前値：6.2%（22年度）⇒目標値：49.8%（26年度）⇒実績値：57.5% 結果の分析：躯体への影響の低減を図る為に爆裂改修工事を実施した結果、目標値を超えることができた。なお、継続的に実施するとともに、安全安心な居住生活確保を図っていききたい。</p>
⑧ 結果の公表方法	四国中央市のホームページにおいて公表を行うとともに、窓口にて閲覧可。

3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等

⑨今後の住宅施策の取組への反映	・安心安全で快適な住まいを提供出来る様、当該計画における指標の更なる向上を目指し、次の地域住宅計画目標として、引き続き掲げることとしている。
⑩その他	(特記すべき事項があれば記載)

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。